

部 局 長 会 議 議 事 要 旨

日 時 令和3年11月17日(水) 14時25分～15時50分

場 所 オンライン会議

出席者 西尾総長、金田、田中、三成、河原、尾上、中谷、水島、奈良、小笠原 各理事、
進藤、森井、豊田、島岡 各副学長、
竹村(外)、三谷(文)、臼井(人)、瀧口(法)、福田(経)、深瀬(理)、今里
(歯)、藤尾(薬)、馬場口(工)、和田(基)、山根(言)、赤井(国公)、村田
(情)、吉森(生)、水谷(高)、佐藤(小児)、岡田(微)、関野(産)、中川(蛋)、
敦賀(社)、田中(接)、土岐(医病)、林(歯病)、有川(国際)、永田(博)、
加藤(日日)、中野(核)、下條(サ) 各部局長

欠席者 熊ノ郷(医)、兒玉(レ) 各部局長

オブザーバー 水田(キャ)、竹田(免)、北川(量子)、池田(CO) 各部局長
河原、堤、藤田、近藤、竹原 各副オフィス長、
栗津(経企) オフィス長

代理出席者 三善(医)、吉村(レ) 各教授

- 議事に先立ち、西尾総長からリスク事案発生時の対応として、本学にマイナスの影響をもたらし得る事案については、発生の恐れや疑いの段階から、すみやかに所属の上司を通じて、部局長や担当理事等へ報告・共有を行うよう、所属構成員に周知徹底いただくよう依頼があった。
- 教職員の給与及び役員の報酬等の検討状況について水島理事より説明があった。
- 前回議事要旨(案)の確認
前回(10月20日)の議事要旨(案)について、特に意見等があれば11月24日(水)までに総務部総務課運営調整係へ提出することとした。
(なお、同日までに意見の提出はなく、原案のとおり確定した。)

議 事

- 1 令和4年度総長裁量ポストの配分について
三成理事から、配付資料に基づき、令和4年度総長裁量ポスト(大学経営機能強化枠、全学共通教育枠)の配分案について説明があった。
- 2 今後の非常勤講師に係る制度について(案)
水島理事から、配付資料に基づき、今後の非常勤講師に係る制度(案)について、説明があり、その後質疑応答を行った。
- 3 共同研究等における学術貢献費制度の試行的導入について
金田理事から、配付資料に基づき、大学の「知」を評価し、研究者が長年にわたり蓄積した「学術的知見」に対し、共同研究等を希望する企業等が、その学術的知見等の対価を支払

うことができる仕組みを整備するために、共同研究等における学術貢献費制度の試行的導入することについて説明があった。

4 真に世界と伍する研究大学を目指す検討について

尾上理事から、配付資料に基づき、内閣府総合科学技術・イノベーション会議中間とりまとめで示された「世界と伍する研究大学」の姿を踏まえて、本学が目指すべき「真に世界と伍する研究大学」の検討状況等について説明があった。

5 第4期中期目標期間以降の事務系職員ポスト抛出について

奈良理事から、配付資料に基づき、第4期中期目標期間以降の事務系職員ポスト抛出について、1.6%の係数を用いたポストの抛出を令和4年度は実施しないこと及び当該ポスト抛出制度の必要性や意義の検証に加えて、事務組織の在り方に関する諸課題について、総合的に取り組んでいく必要があることについて説明があった。

6 第三回部局との懇談会について

金田理事から、第三回部局との懇談会について、12月に接合科学研究所にて実施することの説明があり、積極的に参加いただくよう依頼があった。

7 その他

(1) 科研費「国際先導研究（仮称）」について

尾上理事から、配付資料に基づき、高い研究実績と国際ネットワークを有するトップレベル研究者が率いる優れた研究チームの国際共同研究を強力に推進することを目的とし、令和4年度から新たに制度化される科研費の研究種目「国際先導研究（仮称）」について説明があった。

【配付資料のみ】

- ・ 情報セキュリティに関する報告事項について
- ・ 財務レポート2021について
- ・ 総合学術博物館第15回特別展「乙女文楽－開花から現在まで－」の開催について

(以上)